



ぎおんばら

チャレンジ(挑戦)を 続ける 学校

令和8年7月吉日発行 発行者 校長 高山 靖子

目指す子どもの姿

- 健康で明るい子
- 進んで学ぶ子
- 心の豊かな子
- 地域とつながる子



祇園小学校ホームページはこちら
小学校ホームページはこちら

◆ 小学生の夏休みに大切な たったひとつのこと ◆

子どもたちの夏休みに大切なたったひとつのことは、「**自分で決めて、自分で動く**」ことです。

日課も時間割も先生の指示もない夏休みは、自分で選び、自分で行動する経験ができる絶好の機会です。これまで学校では、教科の学習はもちろん、友達と協力すること、考えて行動すること、相手を思いやること、約束を守ることなど、多くのことを学んできました。それらは教室の中だけで役立つものではなく、家庭や地域での生活の中で発揮されてこそ意味があります。まさに**夏休みは「学校の学習の応用編」**とも言える時間です。**学んだことは、実際に使ってみることで初めて自分の力として定着します。**大切なのは、誰かに言われて動くのではなく、「今日はこれをやろう」と**自分で決めて、やってみる**ことです。

うまくいく日もあれば思うように進まない日もあるでしょう。それでも、自分で考え、決めて、行動した経験は「できた」という自信や「次はこうしてみよう」という意欲をもたらします。保護者や地域の皆様には、子どもたちが学校で培った力を発揮できる場面をつくっていただき、「自分で決めて、自分で動く」その挑戦を温かく見守っていただければ幸いです。それが9月からの学校での学びを豊かにしてくれるはずです。

保護者の皆様をお願いしたい、夏休みの子どもを伸ばすサポーターとしての3つのかかわり方

1. 「自分で決める」を応援する



問いかけにより自分で選ぶ機会をつくることで、子どもは自分の考えをもち始めます。

2. うまくいかないことも「経験」と見守る



計画倒れは失敗ではなく、自立に向けた「経験のうち」です。

3. 結果ではなく「プロセス」を声に出してほめる



続けたことや取り組めたことを認め、声に出してほめる。努力や工夫に目を向けた声かけが、子どものやる気につながります。

日常の声かけを「サポーター視点」に変換する

夏休みの声かけ変換表

× [NG 管理者]	○ [OK サポーター]
指示する 「早く宿題しなさい」	問いかける 「まず何からやろうか?」
叱責する 「だから計画通りにやらないから…」	見守る 「じゃあ、明日はどうする?」
結果のみ 「全部終わってえらいね」	過程を認める 「計画した時間に始められたね」

～目指す子どもの姿に近づけるための具体的な教育活動を4つの柱と関連付けてご紹介していきます。～

健やかな体を育む

暑い夏を乗り切るための体づくりと安全について学びました

第1回からだ WEEK 7/13～7/17

二中学区の小中一貫教育「からだチーム」の取組として、年に2回「からだ WEEK」を実施します。体を動かす楽しさに気づき体力向上につなげるため、また自らの行動が健康に結びつくことに気づき、健康の保持増進につなげるためのものです。

朝の1分間運動や、多目的広場での「目の運動キョロタッチ」「姿勢チェック」など楽しみながら行うことができました。



B&G 水辺の安全教室 7/15



安全に楽しく水辺で遊び、活動する知識と技能を身に付けるために、6年生が下野市職員の指導員の皆様から落水時の対応や、背浮きのやり方などを教えていただきました。身近にあるペットボトルを利用して浮く方法を体験しました。

確かな学びを育む

「聴く力・伝える力を高め、自らの学びを深める授業」を目指して

今年度、祇園小では、学び合いを通して、「聴く力・伝える力・深める力」を高める授業を目指しています。

7月の研究授業は5年の国語科「読むこと」を指導内容とし、「文章の要旨をとらえ、考えたことを伝え合う」ことをねらいとした9時間扱いの単元の授業でした。説明文を読む学習は、1年から段階的に行ってきていますが、「要旨をとらえる」読み方は、5年で初めて扱う学習活動です。そもそも「要旨」って何?ということや、「要約」との違いなどをまず学びました。筆者の伝えたいことについて、自分の考えをもち、友達と話し合うことで考えを交流し新たな気づきや考えの深まりが見られました。



豊かな心を育む

子どもたちのよい判断力や実践力を高めるために…

全学年で「道徳」の授業参観 7/1

第2回目の授業参観では、全学年全学級で「道徳科」の授業を観ていただきました。子どもたちがよりよく生きるための基盤となる道徳性を育てる要となるのは「道徳科」の授業です。年間35時間の授業を大切に行っています。



親子学び合い事業 7/1

5・6年生の児童と保護者を対象に「ネット時代の歩き方講習会」を行いました。SNSの利点と欠点や危険性について親子で一緒に同じ話を聞いていただくことに大きな意味があります。ご家庭で正しい使い方やルールを再確認する機会にいただけるとよいと思います。



地域とつながる力を育む

ふるさと下野市が誇る特産品について学び体験しました

ゆうがおの実むき体験 7/14

下野市文化財課の職員の方がご指導くださり、3年生の社会科の授業で、かんぴょうの原料であるゆうがおの実をむく体験を行いました。給食でもおいしく食べているかんぴょうですが、このように長くむいていくことを初めて知った子どもたちです。「手カンナ」という道具をお借りして貴重な体験ができました。

